

安全にご使用いただくために、
使用前に必ずお読みください。

取扱説明書

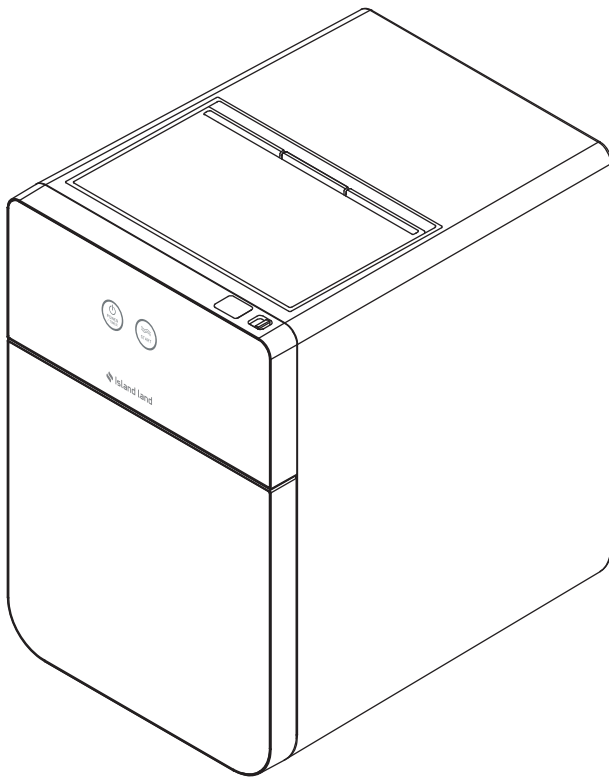
Island land

生ごみ減量乾燥機
パリパリキュー アルファ

Paris Paris Cue α

PPC-51

※脱臭フィルターは未開封です。
ご使用前には必ず上下2枚の
シールをはがしてください。



目次	ページ
梱包内容・各部名称	2
安全上のご注意	3-4
本体の設置場所の選定と確認	5
脱臭フィルターの装着と交換	6-7
試運転の方法	8-9
安全・上手に お使いいただくために	10
乾燥処理の前に	11
乾燥処理の仕方	12-13
乾燥ごみの捨て方 スタート予約について	14
上手な使い方 乾燥処理物の利用	15
お手入れ	16
故障かな?と思ったら	17
アフターサービスと 保証について	18
仕様と お客様ご相談窓口について	19

お使いになる前に

正しい使いかた

こんなときは

裏表紙 無料修理規定・保証書

保証書付

ご使用前に、取扱説明書を必ずお読みください。
本書をお読みになったうえで、正しく安全にご使用ください。
本書に付属の保証書（裏表紙）に「お買上げ日・販売店名」の記入を確かめ、
大切に保管してください。

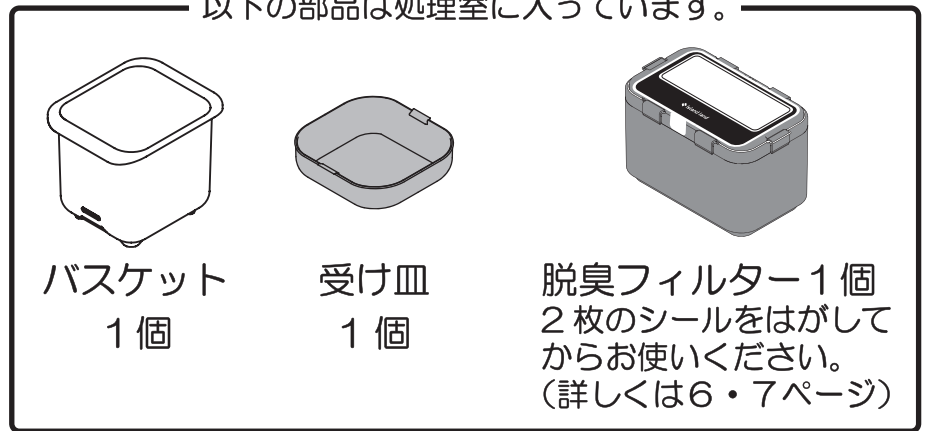
梱包内容・各部名称

この度は本製品をお買上げいただきありがとうございます。
最初に製品の内容をよくご確認ください。

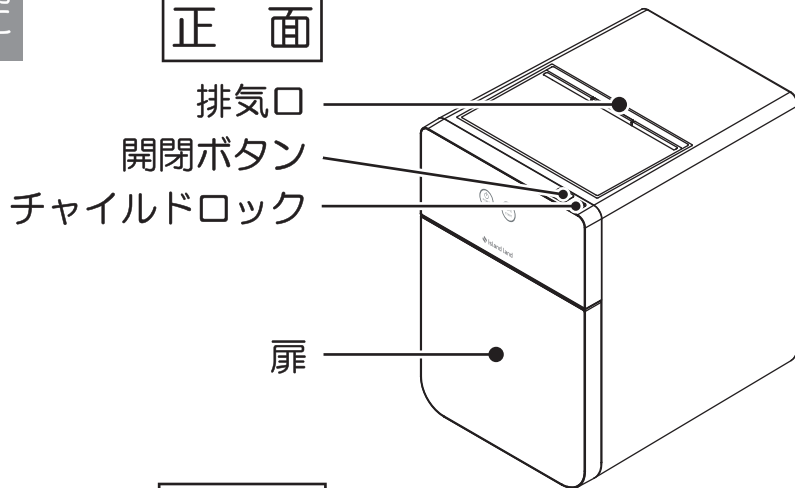
梱包内容一覧

- 本体 1台
- 電源コード 1個
- 付属品（消耗品）
- バスケット 1個
- 受け皿 1個
- 脱臭フィルター 1個

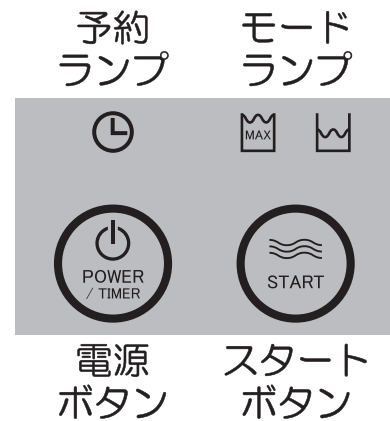
以下の部品は処理室に入っています。



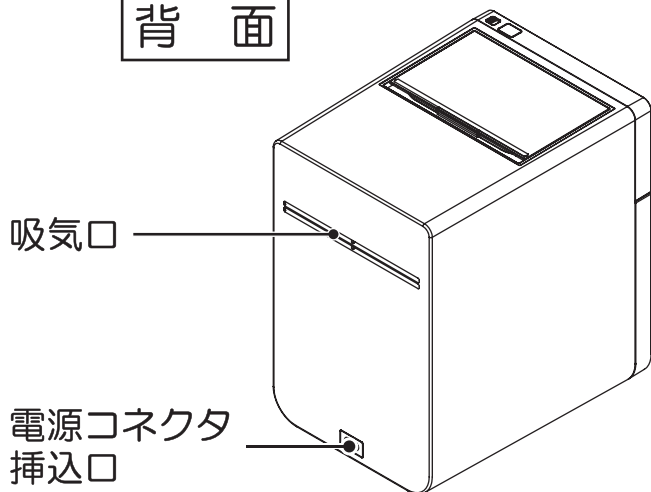
正面



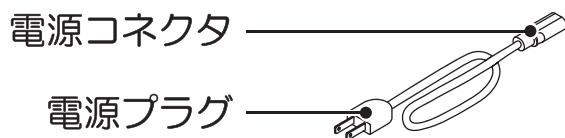
操作パネル



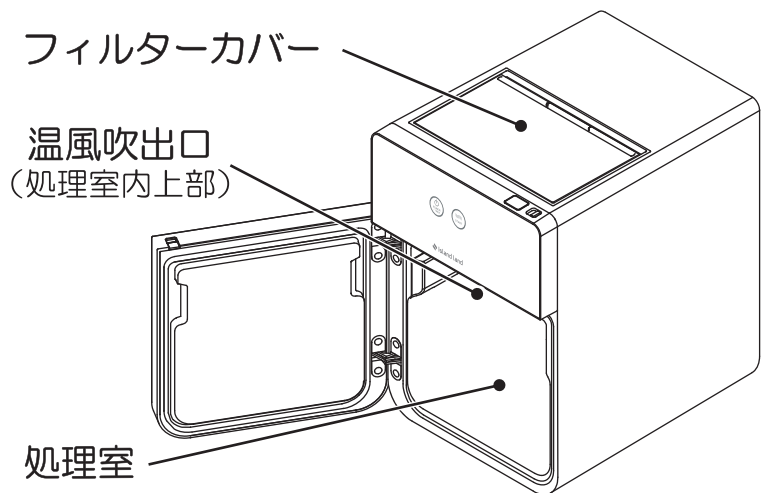
背面



電源コード



処理室



お使いになる前

安全上のご注意 **（必ずお守りください）**

正しく安全にお使いいただくために、必ず警告・注意の内容をお読みください。

安全上の表示について

本書では、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

死亡や重傷を負うことが想定される内容です。



注意

傷害を負うか、物的な損害の発生が想定される内容です。

本書では、お守りいただく内容について、次の表示をしています。（下記は一例です。）



してはいけない内容です。



しなければならない内容です。

警告



植物油・動物系油・美容オイル・石油類・アルコール類・火薬類・粉体類やそれらが付着した紙・布類などは入れない。また、本体の近くに置かない。

- 酸化熱による発火や、引火・爆発の原因になります。



運転中・運転直後は処理室内部を触らない。

- 運転中・運転直後は、処理室内部が熱くなっているため、やけどの原因になります。



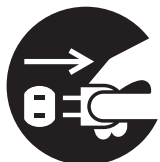
ぬれた手で電源プラグ、電源コネクタの抜き差し、スイッチの操作をしない。

- 感電・ショート・火災・けが・故障等の原因になります。



電源コードを傷つけない。傷んだ電源コードや電源プラグ、緩んだコンセントは使わない。

- 感電・ショート・火災・けが・故障等の原因になります。
- 電源コード、電源プラグの修理は販売店、またはお客様ご相談窓口にご相談ください。



お手入れ、本体に電源プラグを接続していない際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

- 感電や、けがの原因になります。



本体に乗ったり、子供には使わせない。

- 感電・火災・けが・故障の原因になります。



電源プラグ、電源コネクタにほこりが付着している場合、拭いてから使用する。

- 感電や、火災の原因になります。



本体を屋外に置いたり、本体に直接水をかけない。

- 感電・ショート・故障等の原因になります。

安全上のご注意 **必ずお守りください**

正しく安全にお使いいただくために、必ず警告・注意の内容をお読みください。

警告



絶対に分解したり、改造や修理をしない。

- 感電・火災・けが・故障等の原因になります。
- 点検・修理は、販売店、またはお客様ご相談窓口にご相談ください。



コンセントや配線器具の定格を超えるような使い方はしない。

- 電圧を間違えたり、たこ足配線等で定格を超えると、発熱により発火する恐れがあります。

注意



脱臭フィルターの中身（活性炭）は食べない。

- 活性炭を食べると、健康に悪影響を及ぼす場合があります。



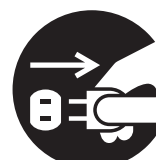
持ち運びには十分注意する。

- 本体の底面から持ち上げてください。本体の扉等を持って持ち上げると、本体が破損し、けがにつながる恐れがあります。



処理室内部上面にある温風吹出口に指を入れない。

- 指を近づけたり触ったりすると、やけどにつながる恐れがあります。



電源プラグ、コネクタを抜くときは、コードを引かずに根元部分を持って抜く。

- コードを破損・感電・火災・故障等の原因になります。



運転中は排気口に触らない。

- 運転中は排気口から熱い空気が出る場合があります。触ることで、やけど（低温やけど含む）をする恐れがあります。



長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。

- 絶縁劣化による感電・火災の原因になります。



脱臭フィルター交換時粉じんの吸入に注意する。

- 脱臭フィルターを交換する際に、粉じんが出る場合があります。
- 脱臭フィルターに顔を近づけすぎると、粉じんを吸入する可能性があります。
- 粉じんを吸入すると、健康に悪影響を及ぼす場合があります。



処理室に生ごみを入れたまま放置しない。

- 生ごみを処理室に入れたまま放置しておくと、虫の発生や、湿気で故障等の原因となります。

本体の設置場所の選定と確認

下記条件にて設置場所を選定してください。

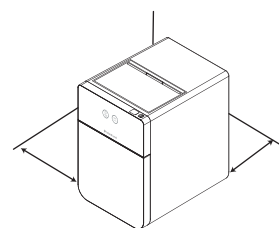
本製品は屋内専用です。必ず屋内に設置してください。

1 設置場所の選定

下記のような場所に設置してください。



- 本体を壁などから20cm以上の間隔を確保し、本体上面は開放空間（本体上面から湿気の多い温かい排気が出ます。）
- 直射日光の当たらない屋内
- 本体が傾かない水平で転倒の恐れのない場所
- 床面の強度のある場所
- 本体の落下の恐れのない場所
- 風通しがよく、ほこりのたまらない場所
- 消防隊進入の障害にならない場所



※側面20cm以上開放
※上面は開放空間

下記のような場所には設置しないでください。



- 屋外（軒下、カーポートなど）
- 湿気やほこりのたまりやすい場所
- 湿気を吸いやすい、畳やじゅうたんなどの上
- コンロやストーブなどの火気、高温になる暖房器具の近く
- アルコール・石油類やプロパンガスなど、引火しやすいものの近く

2 使用前・使用時にご確認ください

本体設置後、使用前にご確認ください。



- 上記項目をご確認していただき、適した場所に設置してください。
- 脱臭フィルターのシールは必ずはがしてください。
- 脱臭フィルターの装着、試運転を行ってください。（6～9ページへ）

本体の周辺、壁紙などが結露していないかご確認ください。

- 気温が低くなると本体上面からの排気により、冷えた壁紙・窓などで結露を起こします。結露が起こる場合は、壁から離したり、換気をしたり、暖かい部屋で使用してください。



下記のような行為はしないでください。

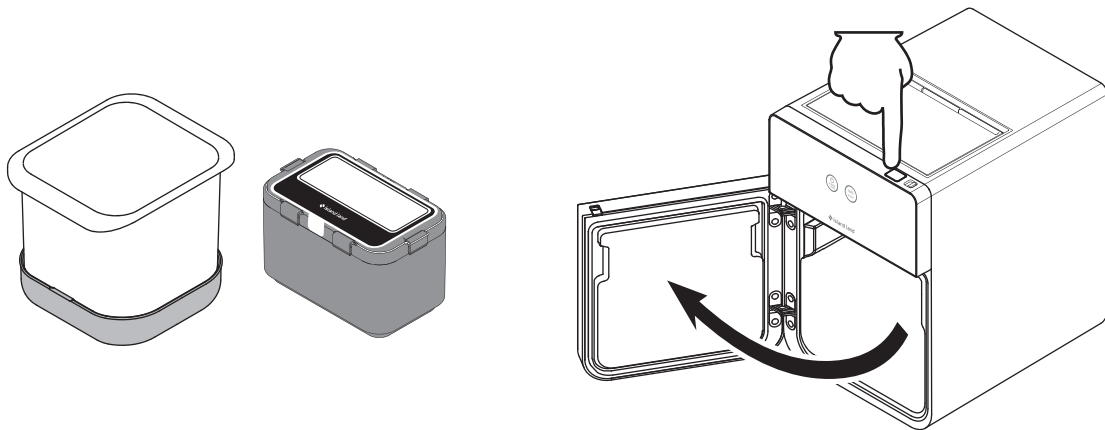
- 本体に袋やカバーをかぶせないでください。
- 製品の開口部をふさがないでください。

脱臭フィルターの装着と交換

脱臭フィルターは粉末状の脱臭剤が入っており、飛散防止のため脱臭フィルターに2枚のシールを貼っています。脱臭フィルターのシールをはがしてから本体へ装着してください。シールをはがさず運転を行うと、製品の故障等の原因になります。

① 扉を開け、処理室内の付属品をすべて取り出す

本体手前上部にあるチャイルドロックが掛かっていないことを確認し、開閉ボタン（OPENと表記）を押すと、扉が少し開きます。手で扉を開け、処理室内の付属品のバスケット、受け皿、脱臭フィルターを取り出してください。

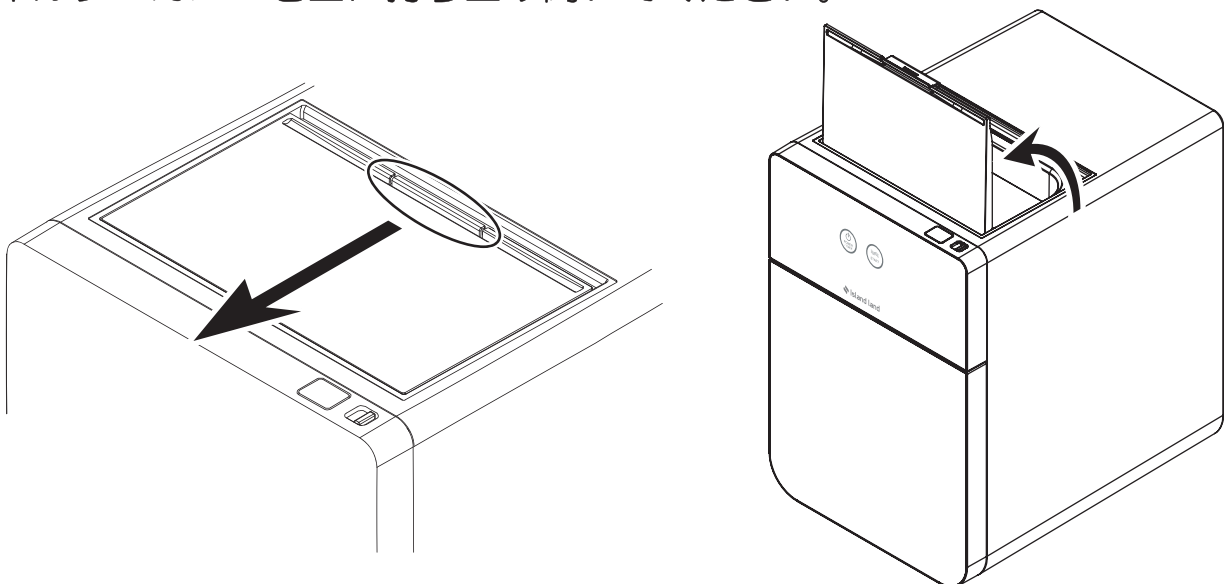


※上記の付属品以外にごみ等が処理室内に残っていないか確認し、ごみがある場合は取りのぞいてください。

※チャイルドロックの突起が左側（施錠状態の表示）にある時はロック状態で、右側（解錠状態の表示）に突起がある時は開閉ボタンで扉の開閉が可能な状態になります。（12 ページ）

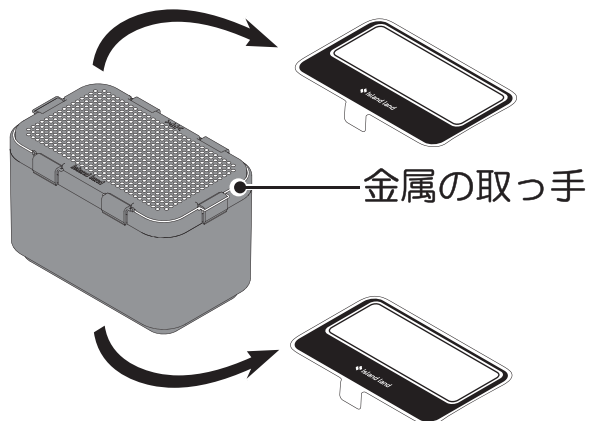
② フィルターカバーを開ける

製品上部のフィルターカバーの中央の丸で囲んだ突起を奥から手前側に引き、フィルターカバーを上を持ち上げ開いてください。



③ 脱臭フィルターのロックの確認、シールをはがす

脱臭フィルターのふたが閉まっているかを確認し、本体に装着する前に必ず脱臭フィルターの上下2枚のシールをはがしてください。



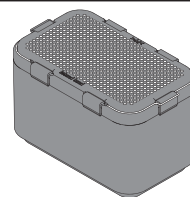
脱臭フィルターについて

金属の取っ手があるほうが上側になります。

シールが
貼られた状態



シールを
はがした状態

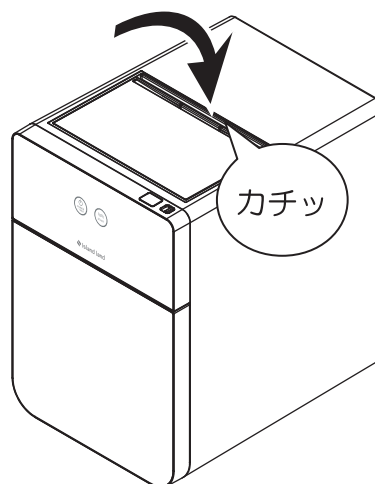
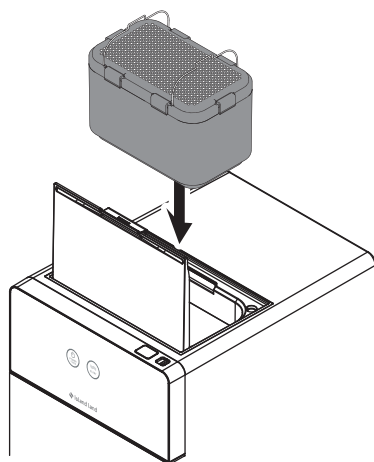


⚠ 作業時のご注意

脱臭フィルターの装着、交換を行う際に、脱臭フィルターの中から粉末状の脱臭剤がこぼれる場合があります。お子様やペットなどの誤飲に繋がる恐れがありますので、必ず屋外やごみ箱の上などで作業を行ってください。

④ 脱臭フィルターを入れ、フィルターカバーを閉める

脱臭フィルター上部の金属の取っ手を持ち、開いたフィルターカバーの空間に脱臭フィルターを入れ装着完了になります。脱臭フィルターの装着後、金属の取っ手を下ろし、フィルターカバーを閉めてください。フィルターカバーが閉まらない場合は、脱臭フィルターの金属の取っ手を下ろしていなかったり、脱臭フィルターのが上下逆の可能性もあります。



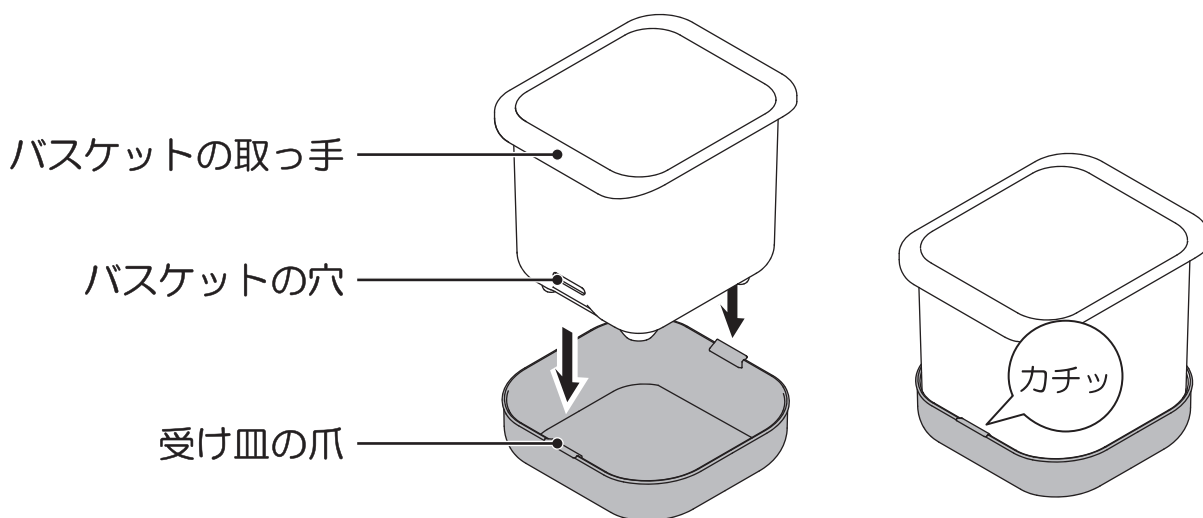
※脱臭フィルターのシールをはがさず使用すると感電・火災・故障の原因になります。
※処理物、気候等の状況により、脱臭フィルターの寿命、能力が低下する場合があります。

試運転の方法

製品の動作確認のため、試運転を行います。

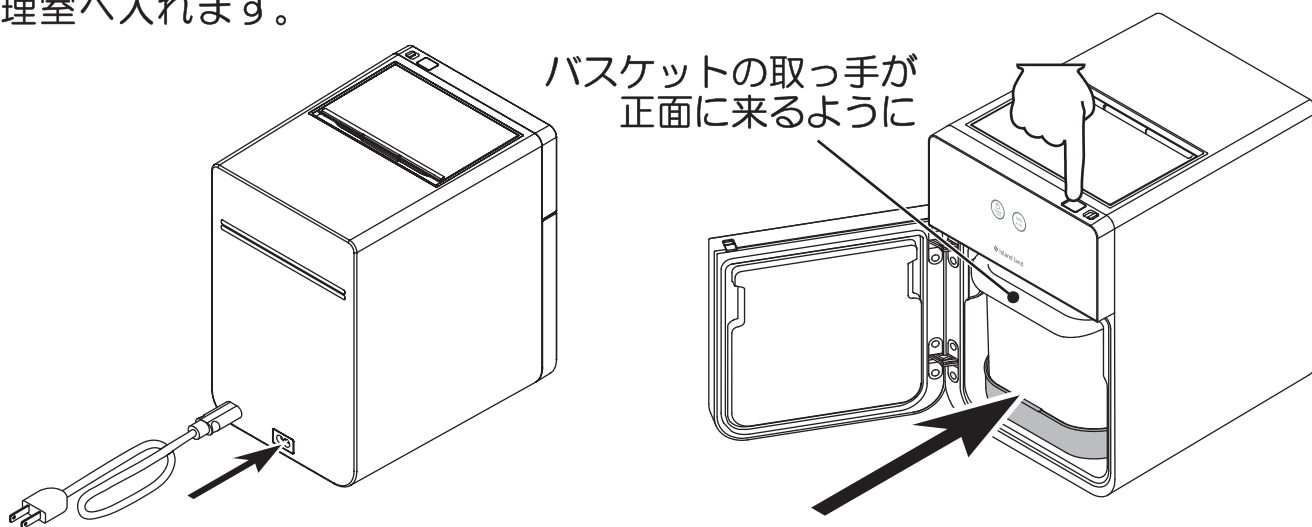
① バスケットに受け皿を取り付ける

バスケットの穴と受け皿の爪の位置を合わせ、バスケットに受け皿を取り付けてください。



② 本体に電源コードを取り付け、バスケットを入れる

本体を水平な場所に置き、電源プラグがコンセントから抜いてあることを確認し、本体の背面底部の電源コネクタ挿込口へ電源コードの電源コネクタをしっかりと奥まで挿し込んでください。次に本体の開閉ボタン（OPENと表記）を押し扉を開け、受け皿を取り付けた状態でバスケットの取っ手を持ち、本体の処理室へ入れます。

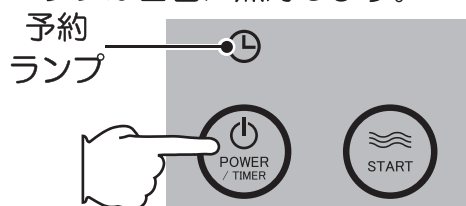


※本体は水平な場所に設置してください。本体が傾いたり、扉が開いている場合は安全装置が作動するため運転を開始できません。

③ 電源を入れ、MAXモードで運転を開始する

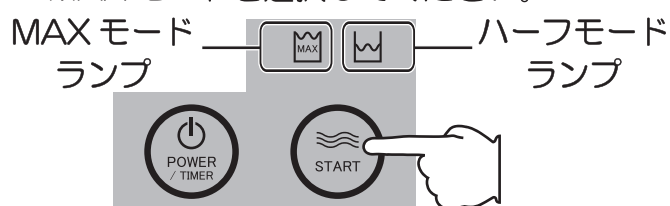
電源プラグをコンセントにしっかり挿し込みます。電源ボタンに1回触れるとボタンの周りが白色に点灯し電源が入ります。次に、スタートボタンでモードを選択します。スタートボタンを触れるたびにモードランプが切り替わりますので、MAXモードを選択し、モードランプが5秒間点滅後、点灯し運転が開始します。

1. 電源ボタンに1回触れます。電源ボタンが白色に点灯します。



電源ボタン

2. スタートボタンに1回触れ、MAXモードを選択してください。



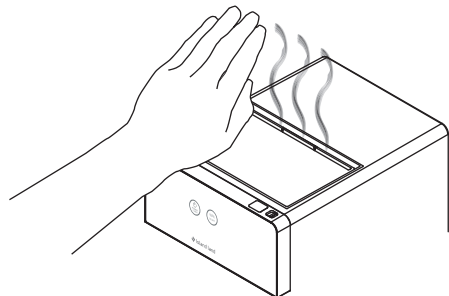
スタートボタン

※電源ボタンに2回触れると、スタート予約（予約ランプが点灯）状態になり、すぐに運転が開始されません。もう一度電源を触れる事でスタート予約が解除され電源が切れます。

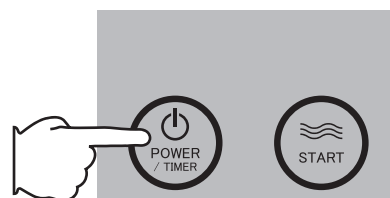
④ 排気口より排気を確認し、電源を切る

運転開始後、本体の上面にある排気口から排気されていることを確認します。運転を続けていると排気温度が上がり、やけどの恐れがあるため、運転開始直後に排気の確認を行ってください。確認後は、本体の電源を切るために電源ボタンに1秒間触れ、本体の電源を切り試運転が終了です。排気されていない場合、一度脱臭フィルターのシールがはがれているかをご確認ください。（6・7ページ）へ

1. 排気口から排気を確認します。
※排気は微風であるため、勢いは強くはありません。



2. 排気確認後、電源ボタンを切ります。電源ボタンを1秒間触れることで電源のボタンの周りのランプが消灯し電源を切ることができます。



電源ボタン

⚠ 運転中のご注意

運転中は排気される空気が温まり、排気口周辺が熱くなる場合があります。やけどの恐れがあるため、触らないでください。運転中に本体を移動したり、扉を開けたりすると、安全装置が作動し運転が一時中断する場合があります。

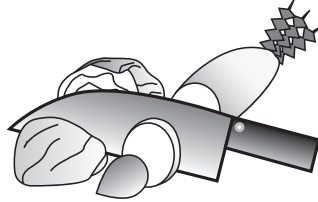
安全・上手にお使いいただくために

本製品は家庭用です。乾燥処理できるものは家庭で発生する生ごみだけです。業務用や乾燥処理以外の目的には使用しないでください。

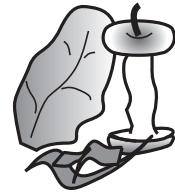
○ 乾燥しやすいもの



ご飯・麺類



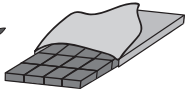
小さく切られた
野菜・果物の皮



野菜くず・果物くず
(一般的に人が食べられる食材)

△ 乾燥しにくいもの

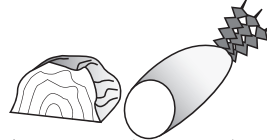
乾燥に時間がかかったり、乾燥が不十分になる場合があります。



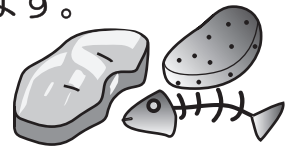
お菓子、果物など
糖分を多く含むもの



カレー、シチューなど
ペースト状のもの



小さく切られていない
そのままの大きさの野菜



肉類・魚類
揚げ物などの油分を
多く含むもの

注意：イカ・エビなど魚介類や、腐った生ごみは脱臭フィルターの寿命を短くし、臭いが出る場合があります。

× 絶対に入れてはいけないもの

発火・火災・爆発の恐れがあるもの



警告

絶対に入れるな！死亡、火災、
重大事故の恐れあり！



油等を含んだ
キッチンペーパーや
ティッシュ、布類



粉体類



油類、石油類
アルコール類



花火
火薬・薬品類



マッチ・ライター

イラスト：経済産業省3R政策イラスト集

◎エラーについて

製品ご使用時に「ピーッピーッ」という警告音が鳴り、各表示ランプが点滅している場合エラー表示となります。電源プラグをコンセントから抜き、「故障かな?と思ったら」(17ページ)を参考に確認していただき、症状が改善されない場合、お買上げの販売店、またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。

◎長期間ご使用にならない場合について

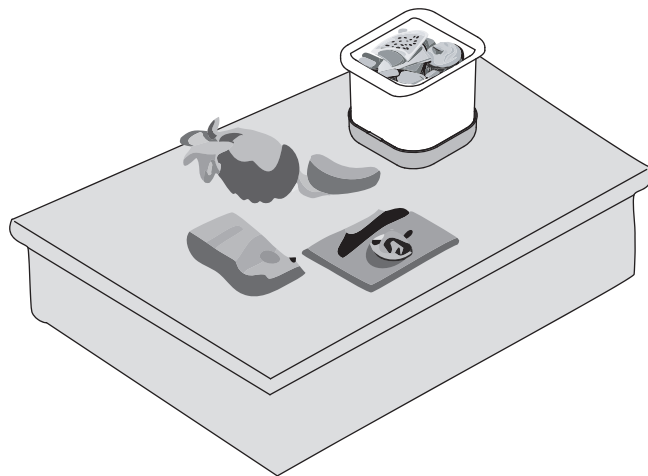
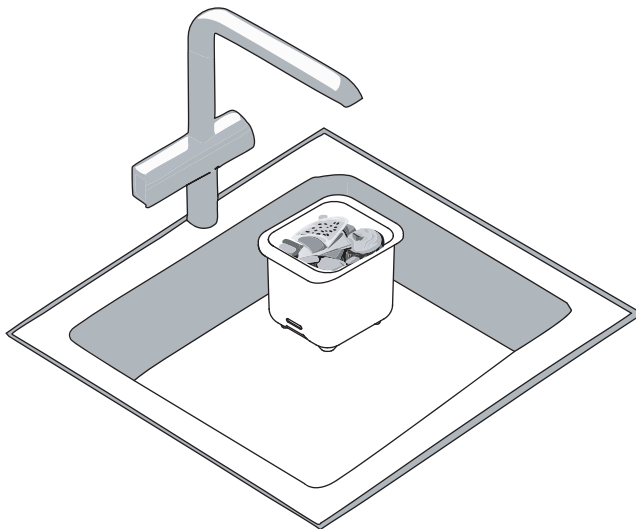
ご使用になっていない場合は、生ごみを入れたままにしないでください。長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。故障の原因となる恐れがあります。

乾燥処理の前に

シンクにバスケットを置き、生ごみを入れます。

① シンクにバスケットを置く

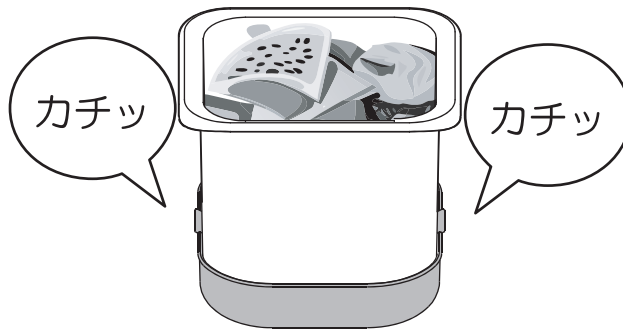
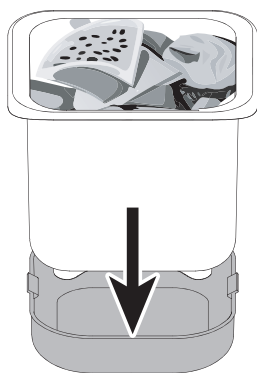
シンクの中で使用する場合は三角コーナーの代わりに使用できます。また、キッチンのワークトップ等で使用する場合は、受け皿をバスケットに付けることにより生ごみからの水垂れを防ぐことができます。



- ※水切りネットを使用し乾燥処理は可能ですが、乾燥効率が落ちる場合があります。
- ※バスケットに水切りネットを使用する場合は、網状のPE（ポリエチレン）素材の水切りネットをご使用ください。網の目の細かい材質の不織布、収縮性のあるストッキングタイプでは乾燥効率が悪くなります。

② バスケットの水をきり、受け皿を付ける

バスケットに生ごみを入れ、水を切り受け皿に乗せます。バスケットを受け皿の奥まで挿し込むと、固定用の爪がかかりバスケットと受け皿が固定されます。



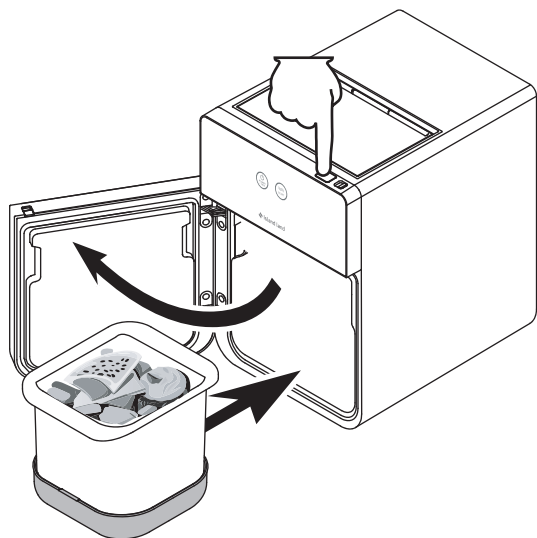
- ※生ごみの量はバスケットの高さのすりきり以上に入れないでください。故障の原因となります。
- ※バスケットの操作中にバスケットの底から水分が垂れます。シンク内で操作をしてください。

乾燥処理の仕方

バスケットにたまった生ごみをそのまま本体に移し、電源を入れます。

③ 処理室に受け皿を装着したバスケットを入れる

本体の扉を開閉ボタンを押して開き、受け皿を装着したバスケットを処理室に入れ、本体の扉を閉めます。



⚠️ チャイルドロックについて

運転中は処理室内が熱くなるため、お子様、ペットのケガ防止のため、扉をロックすることができます。チャイルドロックは本体上面の開閉ボタンの右隣にあり、左右に動かしロック・ロック解除の操作が可能です。



解除状態



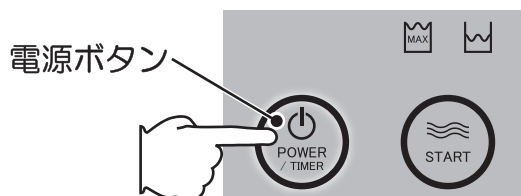
ロック状態

※本体の扉を開閉する際には、電源ボタンやモードボタンに手が触れないように気をつけてください。

※扉が開いている場合、安全装置が作動するため電源ボタン以外の操作ができません。扉を閉めてから、ボタンの操作を行ってください。

④ 電源を入れる

電源を入れるため、操作パネル（下図）上の電源ボタンに1回触れると、電源ボタンが白色に点灯し電源が入ります。



※電源ボタンを2回触れると予約ランプが点灯し、スタート予約モード（14ページで説明）になります。予約を取り消す場合、電源ボタンを1秒間触れると電源が切れます。

⚠️ 運転中のご注意

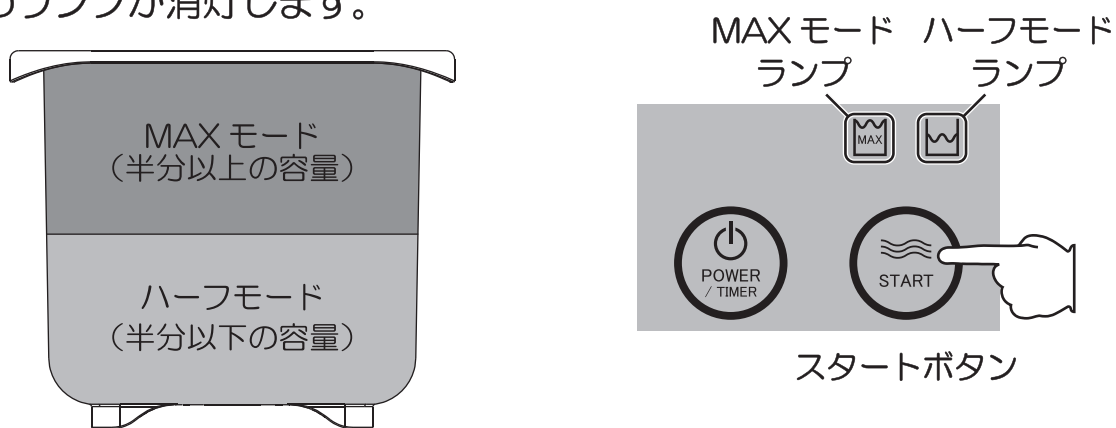
運転中は排気される空気が温まり、排気口周辺が熱くなる場合があります。やけどの恐れがあるため、触らないでください。運転中に本体を移動したり、扉を開けたりすると、安全装置が作動し運転を一時中断する場合があります。

乾燥処理の仕方

運転を開始し、生ごみを乾燥処理します。

⑤ 処理量に合わせて運転モードを選択する

運転モードの目安（下図表）を参考に、スタートボタンで運転モードを選択してください。モードランプが点滅している間は1回触れるごとにモードが切り替わります。モードはごみの容量を参考に、バスケット高さの半分より多い場合はMAXモード、少ない場合はハーフモードを選択してください。最終選択されたモードランプが5秒間点滅した後、スタートボタンが消灯し、モードランプが点灯へ変わり運転が開始されます。乾燥処理が完了すると運転は自動で停止し、すべてのランプが消灯します。



※運転モードの変更については、モードランプが点滅中のみ可能です。運転開始後のスタートボタンが消灯後はモード変更できませんので、一度、電源を切り（電源ボタンに1秒振れる）、再度操作をやり直してください。

※汚れや故障等の原因となりますので、バスケットのすりきりの高さ以上の容量、または1kg以上の質量の生ごみを入れしないでください。

～運転モードの目安～

乾燥具合に合わせてモードを選択してください。乾燥しにくいものや、しっかり乾燥させたい場合はMAXモードを選択してください。乾燥しやすい野菜くずのようなものを処理する場合は、容量が多い場合でも1回の処理時間が短いハーフモードの選択がおすすめです。生ごみの水分を切り、生ごみを小さく切り分けることで処理時間が短くなり、電気の使用量も少なくなります。また、生ごみの容量が少なくても乾燥が不十分に感じる場合は、MAXモードをお試しください。

運転モード	処理物の内容	処理時間の目安
MAXモード	乾燥しにくいもの しっかり乾燥したい場合	約4～9時間
ハーフモード	乾燥しやすいもの 処理時間の短縮	約3～6時間

※当社試験生ごみを使用した場合での運転モードの目安になります。

※生ごみが未乾燥でも安全のため最大運転時間は9時間で運転が停止されます。

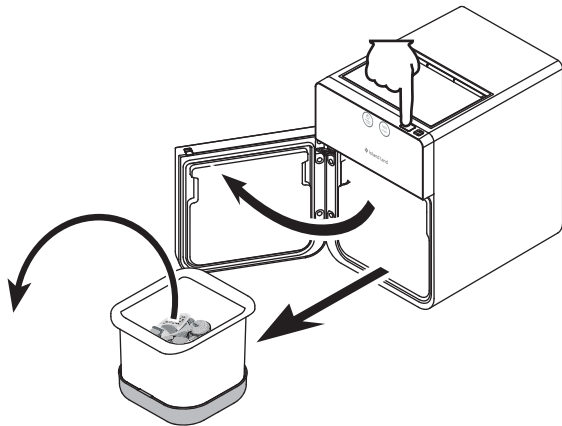
※運転終了後は、電源ボタン、スタートボタン、選択したモードランプがすべて消灯します。

乾燥ごみの捨て方／スタート予約について

乾燥したごみを取り出します。／スタート予約で深夜電力もご利用しやすくなります。

⑥ 乾燥させた生ごみを取り出す

運転が終了すると、全てのランプが消灯します。ランプの消灯を確認した後、扉を開け処理室からバスケット、受け皿を取り出し、乾燥した生ごみを捨ててください。



⚠ やけどにご注意

運転中、及び運転直後は製品の処理室、バスケット、受け皿が熱くなっています。バスケットを取り出す際は、必ず運転終了後に行ってください。運転終了時は電源ランプ、モードランプが消灯しますので、ランプが消えたことを確認してから操作を行ってください。

※乾燥させた生ごみや、その他のごみの処分は各自治体のルールに沿って適正に処理してください。

※処理室からバスケット、受け皿を取り出す際は、処理室内の乾燥処理物の臭いが出ます。

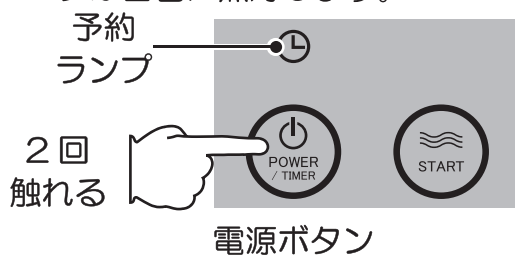
※運転終了後はすみやかに中の乾燥した生ごみを捨ててください。

※生ごみが空気が通らないくらい敷き詰められていたり、油分・糖分を多く含んでいる生ごみは、完全に乾燥処理できない場合があります。このような場合、完全に乾燥処理ができていなくても、バスケット内の処理物を捨ててください。

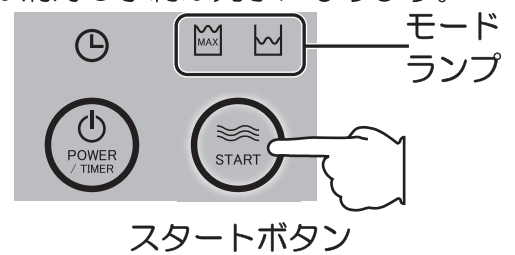
⑦ スタート予約について（3時間後スタート）

深夜電力等のご利用に合わせて、運転開始時間を3時間後に設定できます。電源ボタンに2回触れることで、スタート予約準備状態となり予約ランプが点滅します。次に予約ランプが点滅中にスタートボタンに触れ運転モードを選択します。最終選択されたモードランプが5秒間点滅した後、予約ランプ点灯に変わり準備完了となります。3時間後に電源ランプが点灯し運転が開始されます。

1. 電源ボタンで予約モードを選択します。電源ボタンに2回触れると、予約ランプが白色に点灯します。



2. 運転モードを選択し、選択されたモードランプが点滅から点灯に変わり、ボタンが消灯し予約が完了になります。



※モードの選択が行われなかった場合は、自動的に電源が切れます。

上手な使い方

下記のような使い方をすることにより、便利にご使用いただけます。

～上手な使い方～

下記のような工夫を加えることで、より乾燥効率を高める事ができます。乾燥効率が上がることで運転時間が短くなり、電気の使用量を節約することができる場合があります。

- 温風を吹きつけて生ごみを乾燥させているため、温風をさえぎる様な大きい野菜などは、包丁やハサミなどを利用し3cm以下に切ることで、より乾燥効率が高くなります。
- カレーなどのペースト状のものはバスケットに入れた後、予め水で洗い流すことで、バスケット内の空気が通りやすくなり乾燥の効率が上がります。
- 細かなお米や大きな野菜の皮等でバスケットの底部の穴を塞がないようにすると、バスケット内の空気が通りやすくなり乾燥の効率が上がります。
- 生ごみの水をあらかじめシンク等で切っておくことにより、乾燥の時間の短縮や、乾燥の効率が上がります。
- 予約スタート（3時間後運転開始）を使うことで、深夜電力の時間帯を利用しやすくなり、電気代の節約にもなります。

乾燥処理物の利用

下記のような方法で、乾燥処理物を有機質肥料として利用することも可能です。

乾燥処理物を利用する

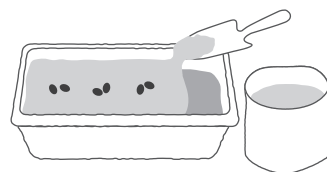
1. 標準プランターの土約12Lに対して、約1cm角につぶした乾燥処理物を紙コップ8杯分入れ、少し湿らせる程度に水をやり、週に1度程度全体をかき混ぜる。
2. 夏場は1～4週間、冬場は1～3ヶ月程ねかし、約2～3cm覆土した上に種をまき、散水しご利用ください。



紙コップ
(200ml)
×
8杯分



標準プランターサイズ
(65×20×20[cm]程度)



※種や苗が直接混合土に触れないように注意してください。

※硬い固形物は取り除いてください。
※生ごみ以外の乾燥処理物は取り除いてください。

注意：乾燥処理物は、肥料取締法上の肥料ではありません。そのため、乾燥処理物を「肥料」として販売することはできません。

お手入れ

お掃除方法、脱臭フィルターに関する説明です。

～お掃除について～

●本体・処理室内について

乾燥処理後は、水で濡らし軽くしぼった柔らかい布などで軽く水拭きしてください。汚れがひどく、洗剤を使用する場合は、水で薄めた台所用中性洗剤を柔らかい布に浸して軽くしぼって拭き取ってください。

●バスケット・受け皿について

バスケット・受け皿の素材はプラスチックになります。運転終了後に、柔らかい布やスポンジで軽く水洗いしてください。汚れがひどく、洗剤を使用する場合は、水で薄めた台所用中性洗剤を使用してください。

※処理室内に臭いがのこる場合があります。掃除はこまめに行ってください。

※強く拭くと色が落ちる場合があります。

ご注意

お掃除は、必ず電源プラグを抜いてから行ってください。また、本体に直接水を入れたり、かけたりしないでください。感電・故障等の原因となります。

～脱臭フィルターについて～

●脱臭フィルターの交換時期について

交換目安は約4ヶ月～9ヶ月に1回となります。交換時期が来ていなくても、臭いが気になり始めたら、お早めに交換してください。

※ご使用回数、処理する生ごみにより交換時期が前後する場合がございます。

●脱臭フィルターのご購入について

脱臭フィルターの商品名は“交換用脱臭フィルター2個入”、型式は“PPC-51-AC33”となります。販売店よりご購入いただけます。

●脱臭フィルターの廃棄方法について

脱臭フィルターに使用されている素材、廃棄方法を確認の上、廃棄処分をしてください。脱臭フィルターの中身を取り出す際は、ふたのロックをはずして取り出してください。脱臭剤が飛散したり、粉じんが出たりしますので、作業は屋外でマスクを付け、袋等で脱臭フィルターを覆い作業を行ってください。

名称	素材	廃棄方法
容器・ふた	ポリプロピレン	プラスチック
金属の取っ手	ステンレス	金属
シール	ポリ塩化ビニル	プラスチック
脱臭剤	活性炭	自治体の区分に従ってください。

故障かな？と思ったら

まず、下記項目をご確認ください。項目を確認後、なお異常がある場合は、販売店、または19ページにある「お客様ご相談窓口」にお問い合わせください。

こんなときは	確認する点・対処方法
<p>ボタンに触れても反応がない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグ、電源コネクタが抜けていませんか？ →電源プラグ、電源コネクタをきちんと挿し込んでください。 ●扉はきちんと閉まっていますか？ →扉の隙間に異物が挟まっていないかを確認し、きちんと扉閉めてください。
<p>電源ボタンに触れていないのに運転が止まる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●扉が開いていませんか？製品が傾いたりしていませんか？ →本製品は安全のため、運転中に扉が開いたり、製品が倒れたり、傾いたりすると運転が一時中断されます。扉を閉め、水平な床に正しく設置すれば運転を再開します。
<p>エラーで運転できない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●電源ボタンでエラー音・ランプ点滅を解除できます。一度電源コードを抜き差しし、試運転を行ってもエラー音が鳴りますか？ ※エラー音が鳴り終わった後は、ランプのみが点滅します。 →試運転後、再度エラーが発生する場合は、販売店、またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。(19ページ)へ。
<p>乾燥処理がうまくできない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●運転終了後、処理室の内側が結露していませんか？ →脱臭フィルターのシールをはがして使用してください。「脱臭フィルターの装着と交換」(6・7ページ)へ。その後、再度試運転(8・9ページ)を行い、使用してください。改善されない場合は、販売店、またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。(19ページ)へ。 ●バスケットに生ごみを詰め込みすぎたり、10ページにある「△乾燥しにくいもの」が多く入っていませんか？ →容量・処理物の確認をしてください。(10ページ)へ。 ●水切りネットの素材が不織布・ストッキングタイプの水切りネットを使用していませんか？ →水切りネットをはずして使用してください。
<p>処理中に強いにおいが出る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●脱臭フィルターの交換目安期間を過ぎていませんか？ →脱臭フィルターの交換目安期間は約4ヶ月～9ヶ月です。この期間を過ぎている場合は脱臭フィルターの交換を行ってください。 ●腐った生ごみなどが多く入っていませんか？ →腐ったものなど、強い臭いが発生する生ごみの状態によっては臭いが出る場合があります。

アフターサービスと保証について

保証書について

1. 保証書は販売店にて「お買上げ日・販売店名」などを記入しております。記入、及び記載内容をご確認いただき大切に保管してください。
2. 保証期間はお買上げ日より1年間です（ただし消耗品・付属品は除く）。保証書の記載内容により販売店、または当社が修理します。その他詳細は裏表紙の保証書をご覧ください。
3. なお、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合、販売店、またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

補修用性能部品の保有期間

本製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後、6年間です。
注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

補修用性能部品について

1. 修理の際に取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は引き取らせていただきます。
2. 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
3. 部品共用化のため、一部予告なしに仕様や外観色を変更することがあります。

修理を依頼されるときは

2ページから17ページにしたがってご確認ください、なお異常があるときは、電源を切り使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買上げの販売店にお問い合わせください。

■保証期間中について

保証書の規定にしたがって、販売店、または当社が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎているときについて

保証期間経過後の修理については、販売店、またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみについて

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。

部品代：修理に使用した部品代金です。

便利メモ	お買上げ日	年 月 日
	お買上げ販売店名	電話 ()

愛情点検

●長年ご使用の生ごみ減量乾燥機の点検を！



こんな症状はありませんか

- ボタンを押しても反応しない
- 異常な音や振動がある
- その他の異常や故障がある



ご使用
中止

事故防止のため、すぐに電源プラグを抜き、販売店へ点検をご依頼ください。

仕様とお客様ご相談窓口について

仕様

型式	PPC-51		
処理方式	温風乾燥式		
電源	AC100V (50/60Hz)		
消費電力※1	350W		
電源コード	1.6m		
使用周囲温度	10℃～35℃		
処理時間	運転モード	MAXモード	ハーフモード
	処理量※2	標準生ごみ	野菜くず
	約300g	—	約4時間00分
	約500g	約6時間10分	約4時間40分
	約700g	約7時間00分	約5時間20分
約1,000g	約8時間20分	—	
最大処理量／最大運転時間	約1kg (約3.0L) / 約9時間		
運転音※1	約38dB		
外形寸法	幅210mm×奥行276mm×高さ317mm		
本体質量	約5.4kg		
付属品 (消耗品)	脱臭フィルター (PPC-51-AC33) 1個		

※1. 社内試験時 (ヒーター出力安定時における常温での測定)

※2. 当社試験生ごみにて

お客様ご相談窓口について

修理、バスケットなどの追加購入、使用方法やお手入れ方法などのご相談は、お客様ご相談窓口へお申し付けください。



シマ株式会社お客様ご相談窓口

電話 フリーダイヤル 0120-256-333 FAX フリーダイヤル 0120-251-666

受付時間 月曜日～金曜日 10時～17時 (土日祝・当社休業日を除きます。)

お客様ご相談窓口個人情報のお取り扱い

シマ株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し連絡させていただくための、ナンバーディスプレイを採用しており、確認のため、住所、氏名、電話番号をお聞きする場合があります。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には一切提供しません。

※FAXでのお問い合わせにおいて、上記以外の受付に関しては翌営業日以降のご返信とさせていただきます。ご返信につきましてはお時間がかかる場合がございます。

※お電話のかけ間違いにはご注意ください。

<無料修理規定>

- 保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、お買上げの販売店（修理申出先）、または下記住所の当社サービスセンターにて無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、製品と本書をご持参ご提示の上、お買上げの販売店（修理申出先）に依頼してください。なお、持込修理の対象商品を直接当社へ送付した場合の送料等はおお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はおお客様の負担となります。
- ご転居の場合には事前にお買上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品等で保証書に記入してあるお買上げの販売店に修理がご依頼になれない場合には、取扱説明書記載のおお客様ご相談窓口へご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - お買上げ後の取り付け場所の移動、落下等による故障及び損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷
 - 一般家庭以外（例えば、業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷
 - 本書の提示がない場合
 - 本書にお客様のお名前、ご住所、電話番号、お買上げ日、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - 消耗部品の交換
 - 中古品をご購入の場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管してください。
 ※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
 保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上げの販売店、当社のおお客様ご相談窓口にお問い合わせください。
 ※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは取扱説明書をご覧ください。

シマ株式会社お客様ご相談窓口

電話 フリーダイヤル 0120-256-333 FAX フリーダイヤル 0120-251-666
 受付時間 月曜日～金曜日 10時～17時（土日祝・当社休業日を除きます。）

シマ株式会社 サービスセンター

〒768-0021 香川県観音寺市吉岡町 907 番地

生ごみ減量乾燥機 パリパリキュー アルファ（PPC-51）保証書			持込修理
品番	PPC-51	製造番号	この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。 お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。 お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及び、その後の安全点検活動のため、記載内容を利用して頂く場合がございますので、ご了承ください。
お客様	お名前		
	ご住所 〒 電話番号		
お買上げ日		販売店名・住所・電話番号	
年 月 日			
保証期間（お買上げ日より）			
本体	1年		
(消耗品・付属品は除く)			
シマ株式会社 〒768-0024 香川県観音寺市中田井町1番地 電話番号：0120-256-333			